



ユーザーズマニュアル

B's CLiP7
UDF Packet Writing Software for Windows

B's CLiP7
UDF Packet Writing Software for Windows

お断り

●本マニュアルは、本マニュアル作成時のソフトおよびハードウェアの情報に基づき作成されています。その後のソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトに搭載されている機能が異なっている場合があります。適宜、補足マニュアルや補足説明文が追加されますので、それもあわせてご覧ください。また、本マニュアルの内容は、将来予告なく変更することがあります。

●本製品の一部またはすべてを無断で複製、複製、改変することはその形態を問わず、禁じます。

●本マニュアルの内容については、万全を期して作成していますが、万一わかり難い点や記載漏れ、誤記などがございましたらご連絡ください。

●MS-DOSおよびWindowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

●その他、このマニュアルに記載されている社名、商品名は、一般に各社の商標ならびに登録商標です。

※製品に関する情報などは、弊社サイト (<http://www.sourcenext.com/>) をご覧ください。

本書の表記について

パソコン	使用しているコンピュータのことを指します。
Windows	Windows XP/Vista/Vista x64/7/7 x64を総称してWindowsと呼んでいます。
メディア	CD-R/RWメディアや記録型DVD用メディアなどのことを総称してメディアと呼んでいます。また、特に断りのない限り、メディアは何も書かれていない状態(ブランク)のものを指します。
ドライブ	CD-R/RWドライブや記録型DVDドライブなどを総称してドライブと呼んでいます。
デフォルト	B's CLiPをインストール後、設定の変更をまったく加えていない初期設定状態をデフォルトと呼んでいます。
クリック/ダブルクリック	アイコンやボタンなどにマウスのポインタを合わせ、左ボタンを1回押すことをクリック、すばやく2回押すことをダブルクリックと呼びます。
オン/オフ	チェックボックスやラジオボタンをクリックし、チェックした表示にすることをオン、何も表示されていない状態にすることをオフと呼んでいます。

※このマニュアルに記載されているドライブの名称は仮名です。ソフトウェア上では実際にお客様がご使用中のドライブの名称が表示されます。

CONTENTS

	ご使用前に必ずお読みください	4
	B's CLiPをご使用前に必ずお読みください	4
	B's CLiPでフォーマットを行なう前に必ずお読みください	5
	主な特徴	7
	動作環境	8
基礎編	このような手順でご使用いただけます	9
	B's CLiPの使い方について	15
	B's CLiPを使用する上で知っておきたいこと	15
	メディアをフォーマットするには	16
	CD-R/DVD-R/DVD+R/DVD+R DL/ DVD-R DL/DVD-RAM/BD-R/BD-R DL/HD DVD-R/HD DVD-R DLのフォーマット	16
	CD-RW/DVD-RW/DVD+RW/BD-R/BD-RE DL/HD DVD-RWのフォーマット	18
	メディアを取り出す	20
応用編	各種メディアにおける取り扱いの違いについて	23
	各種メディアのフォーマットと取り出しについて	23
	バックグラウンドフォーマットについて	25
	CD-R/DVD-R/DVD+R/DVD+R DL/DVD-R DLメディアの 取り出し時の注意点	27
	DVD-RAMライトプロテクト設定について	29
	DVD-RAMにプロテクトを設定する	29
	DVD-RAMのプロテクトを解除する	30
	プロパティシートの使い方 各種設定方法	31
	プロパティシートを表示する	31
	B's CLiP Page 全般について	31
B's CLiP Page 設定について ドライブ設定の変更	32	
	B's Eraseの使い方	34
	お困りの時には…(トラブルシューティング)	36
	よくあるお問合せ内容	36
	ドライブの接続状態や設定の確認について	42
	デバイスマネージャの確認方法を教えてください	43
	ASPIマネージャについてと、その確認方法	44
	バージョン情報の確認	47
	サポートサービスについて	48
	B's CLiP7 サポートシート	51

ご使用前に必ずお読みください

■ B's CLiPをご使用前に必ずお読みください

インストールと互換性に関する注意事項

1. 他社製のパケットライトソフトウェアまたはライティングソフトウェアとは共存できません。
B's CLiPおよびB's Recorder以外のパケットライトソフトウェア、ライティングソフトウェアはすべてアンインストールしてください。
2. ネットワークドライブを割り当てないでください。
3. 省電力機能に対応していません。常に電源オンの設定にしてください。

BDメディア、DVD-RAMメディアご使用時の注意事項

- ・「DVD-RAMドライブ」または「BDドライブソフト」がご使用のパソコンにインストールされている場合は、B's CLiPでBDメディア、DVD-RAMメディアをご使用いただけません。なお、ご使用の「DVD-RAMドライブ」によってはBDメディアをB's CLiPでご使用いただける場合があります。
- ・BD-RE/BD-RE DLメディアをB's CLiPでご使用いただく場合はBD-RE/BD-RE DLメディアのバージョン2.0以降が必要となります。BD-RE/BD-RE DLメディアをB's CLiPでご使用いただく際は、ご使用のBD-RE/BD-RE DLメディアのバージョンにご注意ください。BD-RE/BD-RE DLメディアのバージョンについてはメディアの販売店もしくはメーカーにお問い合わせください。

Windows XPに関する制限および注意事項

1. 複数ユーザーによる同時使用はできません。
2. IMEのツールバーを最小化してご使用ください。
3. OS標準のCD書き込み機能とは互換性がないので、CDまたはDVDのプロパティからCD書き込みを無効にしてください。

Windows Vista/Vista x64/7/7 x64に関する制限および注意事項

1. B's CLiPでメディアをフォーマットしている時や、メディアをマウントしている時、取り出し処理中などにスリープ、もしくは休止状態へ移行を行なわないようにしてください。メディアの情報が破損してしまう可能性があります。スリープや休止状態への移行は必ずメディアを取り出してから行なってください。
2. OSは標準でUDFの書き込みをサポートしていますが、B's CLiPメディアとの互換性は保証していません。ご注意ください。

その他の注意事項

- ・ ご使用のバージョンによっては、CD-R/DVD-R/DVD+R/DVD+R DL/DVD-R DLをサポートしていません。CD-RW/DVD-RW/DVD+RWのみがご使用になれます。
- ・ メディアの空き容量が少ない場合は、取り出し処理ができない場合があります。
- ・ サスペンドモードを行なう場合は、必ずメディアを取り出してから実行してください。
- ・ パソコンの電源を切る際には、あらかじめメディアを取り出してください。
- ・ B's CLiPはデータ記録専用のソフトウェアです。音楽CDやDVD-Videoを作る機能は搭載されていません。次項「B's CLiPでフォーマットを行なう前に必ずお読みください」を併せてご確認ください。
- ・ 「CD-ROM (DVD-ROM) で読めるようにする」で取り出し処理を行なった場合、ご使用のCD-ROM (DVD-ROM) ドライブ、他社製ライティングソフトウェア、パケットライティングソフトウェア、ドライブによっては、読み取りエラーが発生し、正常に認識されない場合があります。

■ B's CLiPでフォーマットを行なう前に必ずお読みください

B's CLiPでは、パケットライティングと呼ばれる方式で書き込みを行なうために、メディアをUDF (ユニバーサル・ディスク・フォーマット) と呼ばれる形式でフォーマットします。

B's CLiPでフォーマットしたメディアは、B's Recorderなどのプレマスタリング形式のライティングソフトウェアでは書き込みに使用できません。

フォーマットを実行する前に、どのソフトウェアで書き込みを行ないたいのか、どのようなメディアを作成したいのかをご確認ください。

なお、CD-RW、DVD-RWなど書き換え・消去が可能なメディアについては、「B's Erase」を使用して「消去」することによって、プレマスタリング形式のライティングソフトウェアで使用可能な状態にすることが可能です。

B's RecorderとB's CLiPの違いについて

1. USBメモリと同じように使いたい

→ という場合は**B's CLiPシリーズ**をお使いください。

B's CLiPシリーズは、USBメモリと同感覚で書き込みを実行する“パケットライティング”と呼ばれる方式で書き込みを行ないます。

メディアのフォーマットさえ行なえば、エクスプローラ上からドラックアンドドロップでデータを書き込むことが可能になります。

B's RecorderシリーズのようなCDのまるごとコピーや音楽CDの作成はできません。書き込めるのはデータのみです。

B's CLiPシリーズでは、メディアはフォーマットしてから使用します。UDFフォーマットと呼ばれるフォーマットのため、B's Recorderシリーズで作成したメディアほど再生の互換性が高くありません。第三者に渡したり、いくつものパソコン環境で参照するメディアを作成する場合は、B's Recorderシリーズの方が適しています。

2. 音楽CDやDVD-Videoを作りたい

デジカメ画像をCDに保存して友達にプレゼントしたい

→ という場合は**B's Recorderシリーズ**をお使いください。

B's Recorderシリーズは、データCD/DVDをはじめ、音楽CDやビデオCD、DVD-Videoなどを作成することができます。

書き込みたいデータをB's Recorderシリーズの画面上に登録して、書き込みを実行する“プレマスタリング”と呼ばれる方式で書き込みを行ないます。

この方式で書き込んだデータCDやデータDVDは、市販のCD-ROMやDVD-ROMと同様のフォーマットになるため、再生の互換性が高く、プレゼントや配布用など第三者に渡すCD/DVDの作成に適しています。

また、CD/DVDをまるごとコピーする機能や、音楽CDをリッピングしてWAVEファイルやMP3ファイルなどの音楽ファイルを作成する機能もあります（著作権保護ファイルは除く）。

B's Recorderシリーズで使用するCD-R/RWや記録型DVDメディアは事前にフォーマットを行なう必要はありません。購入したままのブランクメディアの状態でご使用ください。

既にフォーマット済みのメディア（CD-RW、DVD-RWなど書き換え・消去が可能なメディア）をお持ちの場合は、B's Recorderのメディア消去機能が前項の「B's Erase」にて消去を行ってからご使用ください。

●本文中の用語説明

ブランク（メディア）	まだ何もデータが書き込まれていない新しいメディアのことを指します。CD-RWメディアの場合、フォーマット済みとして販売されているものがあるので、注意が必要です。フォーマット済みメディアをB's CLiPで使用する場合は、再度フォーマットを行なう必要があります。
フォーマット	メディアをパソコン上で使用できるようにする処理を指します。B's CLiPでは、パケットライティング形式での書き込みを行なうため、UDFフォーマットを行ないます。

■ 主な特徴

柔軟な使用環境を実現

●さまざまなドライブに対応し、ファイル/フォルダ単位での追記を実現

B's CLiPはフロッピーディスクを扱うような感覚で、エクスプローラから直接CDやDVD、BDやDVD-RAMに書き込みできるようになります。メディアがいっぱいになるまで何度でもデータの追記を行なえ、ファイル単位での削除も行なえます（ただし、削除後に空き容量が増えるのは、RWメディア、BD-REメディア、BD-RE DLメディア、DVD-RAMメディア、HD DVD-RWメディアのみです）。

対応メディア：CD-R/CD-RW/CD-MRW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/DVD+R DL/DVD-R DL/BD-R/BD-RE/BD-R DL/BD-RE DL/DVD-RAM/HD DVD-R/HD DVD-RW/HD DVD-R DL（2007年12月現在）。

さまざまな規格に対応し、幅広い用途を提供

●新規格・新機能に対応

対応ドライブでご使用いただくことにより、次世代パケットライトの規格である「CD-MRW」（マウントレイニア）や、DVD+RWメディアのフォーマットがより高速に行なえる「DVD+RWクイックスタート」機能をご使用いただけます。さらにB's CLiPでは大容量のデータが記録できる「DVD+R DL」や「DVD-R DL」、「BD-R/BD-R DL」「BD-RE/BD-RE DL」「HD DVD-R/HD DVD-RW」「HD DVD-R DL」にも対応しています。

また、B's CLiPではDVD-RAMメディアへの記録にも対応しました。DVD-RAMメディアには記録ができないように保護をかけるライトプロテクトを設定することができます。ライトプロテクトを設定したDVD-RAMメディアにはデータを記録することができなくなるため、データの上書きなどを防ぐことができます。

●世界標準UDF (Universal Disk Format) Version 1.50と2.00/2.01/2.50に対応

B's CLiPは、世界標準のファイルフォーマットであるUDF形式の、バージョン1.50に対応し、さらに新しい形式であるUDF 2.00/2.01/2.50での記録にも対応いたしました。

※UDF 2.50はBD/HD DVDメディアのみ対応。

Column UDF 1.50とUDF 2.00/2.01/2.50の違いは？

B's CLiP7ではDVDメディアのフォーマット時、UDFバージョン選択項目が表示されます。通常は互換性に優れたUDF 1.50でご使用ください。各バージョンには以下の特徴があります。
 ※BD/HD DVDメディアはUDF 2.50のみご使用いただけます。

UDF 1.50	B's CLiP5から使用されているバージョンで、パケットライトソフト向けに、ライトワンスやリライタブルを規定した規格です。UDF 1.02から実装された代替セクタ処理機能も追加されています。
UDF 2.00	UDF Version 1.50にファイル属性の対応を加えた規格で、DVDフォーラムで規定されたリアルタイム録画用のフォーマットDVD Video Recording Format(DVD-VR)で使用されています。B's CLiPではDVD-VRのDVD-Videoは作成できません。
UDF 2.01	UDF Version 2.00のリファイン版で、DVD Stream Recording (DVD-SR) で将来使用される予定です。
UDF 2.50	UDF Version 2.00のリファイン版で、BDメディア (Blu-ray Disc) で採用されています。BD-RE/BD-RE DLメディアではバージョンの2.0以降でUDF 2.50が使用できます。

■ 動作環境

パソコン	Windows XP/Vista (32ビット/64ビット) /7 (32ビット/64ビット) が正常に動作するパソコン
CPU	インテル Pentium II 300MHz以上またはその互換以上 64bitアーキテクチャをサポートするPentium 4またはAthlon64
メモリ	32MB (推奨64MB以上)
ハードディスク空き容量	本ソフトウェアをインストールするために、約15MBのハードディスクの空き容量が必要。
画像モード	SVGA (800×600) 以上の解像度のビデオカードとモニター、24bit以上のシステムカラー
動作確認済みドライブ	動作確認済みドライブは、弊社webページにてご案内しております。 http://www.sourcenext.info/bs/にアクセスしてください。

このような手順でご使用いただけます

はじめに、画面右下のタスクトレイに  のアイコンが表示されているかを確認してください。

①まずは、**ブランクメディアのフォーマットを行ないます。**

- **フォーマットって？**
B's CLiPでメディアを扱えるようにする処理のことです。
- **ブランクメディアって？**
まだ何も書き込まれていない新しいメディアのことです。

1 ブランクメディアを入れてください。次の画面が出ます。



「CD/DVDをFDやMOのように使う」を押してください（選択肢の1番上になります）。

- ※ B's CLiPはデータ保存のみを行なうソフトです。フォーマット後はB's CLiPでしかメディアを扱えなくなります。
- ※ 音楽CDやDVD-Video作成が目的の場合は、フォーマット不要で各種記録が行なえるB's Recorderシリーズをご使用ください。
- ※ ご使用のバージョンによっては、この画面は表示されません。



2 B's CLiPの説明が表示されます。このままメディアをB's CLiPでフォーマットする場合は[次へ(N)>]を押してください。



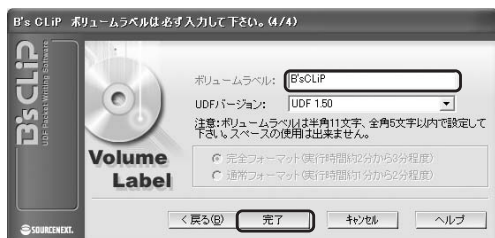
3 メディアをフォーマットしたいドライブを選択してください。通常はそのまま[次へ(N)>]を押してください。

※ B's CLiPに対応したドライブが複数台つながっていれば、それらも表示されます。必要があればそちらを選択して[次へ(N)>]を押してください。



4 メディアの状態が表示されます。このまま[次へ(N)>]を押してください。

※ [プロパティ(P)]ボタンで設定できる内容については、31ページの「プロパティシートの使い方 各種設定方法」をご参照ください。



5 必要に応じ、ボリュームラベル（メディアにつける名前）を決めてください。通常はそのまま[完了]を押してください。ボリュームラベルは後からの変更も可能です。

- ※ ボリュームラベル（メディアにつける名前）は、半角11文字、全角5文字以内で設定してください。スペースは使用できません。
- ※ DVDメディアの場合「UDFバージョン」という項目が表示されますが、特に必要がない限り、通常は互換性に優れたUDF 1.50でご使用ください。
- ※ BD-R/BD-RE/BD-R DL/BD-RE DLメディアご使用時はUDF 2.50固定となります。

UDF 1.50とUDF 2.00/2.01/2.50の違いについては、8ページのコラム「UDF 1.50とUDF 2.00/2.01/2.50の違いは？」をご参照ください。





6 確認画面が表示されます。B's CLiPでフォーマットして良い場合は、[OK]を押してください。

※ B's CLiPでフォーマットされたメディアは、RWメディア、DVD-RAMメディア、BD-RE/BD-RE DLメディア、HD DVD-RWメディアを除きB's Recorderなどライティングソフトウェアではご使用いただけません。



7 フォーマットが終了しメディアがマウントされます。[OK]を押してください。

この画面が出たあと、タスクトレイのがに変われば準備OKです！

8 上記**7**の画面を閉じた後は、いつでもCDやDVDに対しデータをコピーいただけます。

データコピーの手順（一例）については、次項からの内容をご参照ください。基本的には、フロッピーディスクを扱うのと同じ感覚でご使用いただけます。また、B's CLiPでマウント中のメディアは、データ保護のためにボタンで取り出しできなくなっている場合があります。メディアを取り出される際は、③の「メディアを取り出してみよう」の手順にしたがって取り出してください。

②それでは、データをコピーしてみましょう（以下の手順は一例です）

1 マイコンピュータを開いて、コピー先になるCDまたはDVDのアイコンを表示させましょう。

[スタート]から[コンピュータ]（XPは [マイコンピュータ]）をクリックしてください。



マイコンピュータを開くと、ウインドウの中にCDまたはDVDのアイコンが表示されます。



2 1で表示させたCDまたはDVDのアイコンが隠れないように、コピーしたいファイルを表示させてください。

※ 画面は、[マイ ピクチャ]フォルダの例です。



3 データのコピーを行なってみましょう。
この例では「IMG_001.jpg」ファイルをコピーしてみます。

- ① コピーしたいファイルの上でマウスの左ボタンを押したまま…
- ② CDまたはDVDのアイコンまでマウスを動かして…
- ③ マウスの矢印をCDまたはDVDアイコンの上に重ねたら、左ボタンから手を離してください。

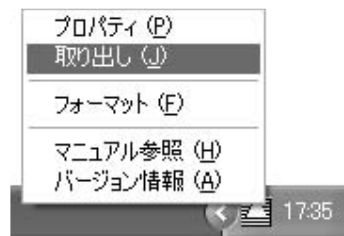


4 コピーが始まり、あとどれくらいでコピーが終わるかが表示されます。
※ コピー元がごく小さい容量の場合、上記の画面は出てこないことがあります。



5 データがコピーされたかどうかは、CDまたはDVDのアイコンをダブルクリックで開くとわかります。
コピーしたファイルが入っていたら、正常にデータがコピーされました。

③では、メディアを取り出してみましょう。



1 タスクトレイの [Eject] の上で右クリックして、[取り出し(J)]をクリックします。

2 メディアの種類によってはそのままメディアが出てきますが、以下のような画面が出ることがあります。



▲CD-Rの場合



▲CD-MRWで、バックグラウンドフォーマットが終了していない場合





▲DVD-R/DVD+R/DVD+R DL/DVD-R DLの場合

※ DVD-R DLメディアの場合、「DVD-ROMドライブで読めるようにする。(再書き込み可能)」は選択できません。

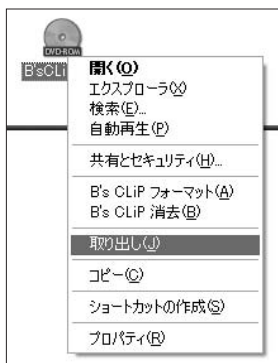


▲DVD-RWの場合またはDVD+RWメディアでバックグラウンドフォーマットが終了していない場合

3 いずれも「このまま取り出す。」の状態[OK]を押すとメディアが出てきます。

- ※ パソコンの電源を切る際は、必ずメディアを取り出してください。
- ※ 再度同じメディアに書き込みをする場合は、メディアを入れてタスクトレイのがになれば準備OKです。
- ※ 取り出し時にその他の選択肢を選ぶことで、B's CLiPが使用できない環境でもメディアを読み込めるよう、CD-ROMまたはDVD-ROM互換形式で取り出すことができます。詳しくは、23ページの「各種メディアにおける取り扱いの違いについて」をご参照ください。

CDまたはDVDアイコンの上で右クリック→[取り出し(J)]を選んでも「このまま取り出す。」と同じ取り出しができます。



B's CLiPの使い方について

B's CLiPは、OS起動後にシステムに常駐し、CD-R/RWドライブやDVD-R/RW、DVD+RW/+RドライブなどをUSBメモリのように使用できるようにします。ファイルやフォルダの書き込みや削除などの基本的な操作はUSBメモリと同じ操作で行なうことができます。

ただし、音楽CDやデータCDを作成する場合に使用するプリマスタリングソフトとは異なり、使用する上で次の点について注意してください。

■ B's CLiPを使用する上で知っておきたいこと

フォーマット	B's CLiPを使用して書き込みを行なうためには、USBメモリなどを使用する場合と同様に必ずメディアをフォーマットする必要があります。
読み出し	CD-R/DVD-R/+Rなどを使用した場合は、他のパソコンで読み出しが行なえるように特別な処理を施さない限り、B's CLiPをインストールしたパソコンでしかそのメディアを読み出すことができません。
空き領域	CD-R/DVD-R/DVD+R/DVD+R DL/DVD-R DL/BD-R/BD-R DL/HD DVD-R/HD DVD-R DLメディアを使用した場合は、ファイルやフォルダの削除を行なってもメディアの空き領域が増加しません。CD-RWおよびDVD-RW/+RW、DVD-RAM、BD-RE/BD-RE DL、HD DVD-RWメディアを使用した場合は、空き領域が増加します。
メディアの消去	B's CLiPでフォーマットしたCD-RWおよびDVD-RW/+RW、DVD-RAMやBD-RE/BD-RE DL、HD DVD-RWメディアをプリマスタリングソフトで使用するためには、B's Eraseにてメディアの消去を行なう必要があります。詳しくは34ページの「B's Eraseの使い方」をご参照ください。
メディアの取り出し	マウントされたメディア（フォーマット済みのメディアをドライブに挿入している場合）は、ドライブのイジェクトボタンを押しても取り出すことができないことがあります。必ずタスクトレイに常駐したB's CLiPのアイコンからメディアの取り出しを行なってください。
その他	他社製のライティングソフト、バケットライトソフトとは、共存できません。B's CLiPをインストールする前に必ず、アンインストールしてください。

メディアをフォーマットするには

■ CD-R/DVD-R/DVD+R/DVD+R DL/DVD-R DL/DVD-RAM/BD-R/BD-R DL/HD DVD-R/HD DVD-R DLのフォーマット

B's CLiPには、CD-R/DVD-R/DVD+R/DVD+R DL/DVD-R DL/DVD-RAM/BD-R/BD-R DL/HD DVD-R/HD DVD-R DLで使用されるフォーマット方法と、CD-RW/DVD-RW/DVD+RW/BD-RE/BD-RE DL/HD DVD-RWで使用されるフォーマット方法の、大きく分けて2種類があります。

ここでは、CD-R/DVD-R/DVD+R/DVD+R DL/DVD-R DL/DVD-RAM/BD-R/BD-R DL/HD DVD-R/HD DVD-R DLのフォーマット手順を紹介します。



1 メディアをドライブに挿入します。メニューが表示されますので、[CD/DVDをFDやMOのように使う]を選択してください。

(この画面は表示されないバージョンがあります)

Point

フォーマットは、タスクトレイに常駐したB's CLiPのアイコンを右クリックし、メニューから [フォーマット] を選択することも行なえます。この場合は、フォーマッタが起動したら[次へ(N)>]をクリックしてください。



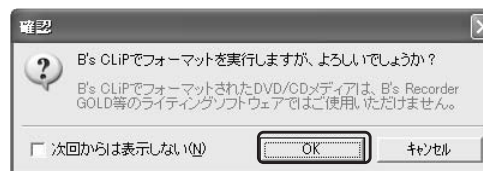
2 フォーマットを行なうドライブを選択し、[次へ(N)>]をクリックします。



3 メディアのプロパティを確認したい場合は[プロパティ(P)]をクリックしてください。よければ、[次へ(N)>]をクリックします。



4 ボリュームラベルを入力し、[完了]をクリックします。
※DVDメディア、DVD-RAMメディア使用時はUDFのバージョンを選択することができます。



確認後、[OK]を押してください



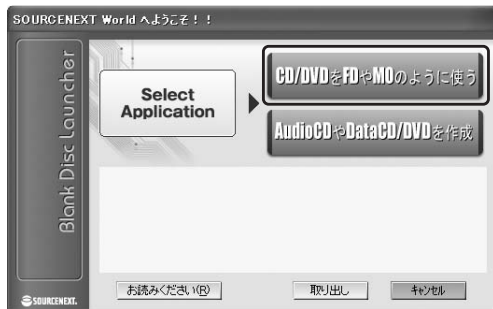


5 フォーマットが終了するとメディアがマウントされます。[OK]をクリックしてください。

CD-RW/DVD-RW/DVD+RW/BD-RE/BD-RE DL/HD DVD-RWのフォーマット

CD-RW/DVD-RW/DVD+RW/BD-RE/BD-RE DL/HD DVD-RWのフォーマットには、メディア全体の物理フォーマットを行なう完全フォーマットと、ファイル情報を消去し見かけだけのフォーマットを行なう通常フォーマットの2種類があります。完全フォーマットは、フォーマットに長い時間が必要ですが、初めて使用する場合は必ずこのフォーマットを行なう必要があります。通常フォーマットは、1度フォーマットを行ったメディアに対してのみ行なえます。

ここでは、CD-RW/DVD-RW/DVD+RW/BD-RE/BD-RE DL/HD DVD-RWのフォーマット手順を紹介しています。



1 メディアをドライブに挿入します。メニューが表示されるので、[CD/DVDをFDやMOのように使う]を選択してください。

(この画面は表示されないバージョンがあります)

Point
フォーマットは、タスクトレイに常駐したB's CLiPのアイコンを右クリックし、メニューから [フォーマット] を選択することも行なえます。この場合は、フォーマッタが起動したら[次へ(N)>]をクリックしてください。



2 フォーマットを行なうドライブを選択し、[次へ(N)>] をクリックします。



3 メディアのプロパティを確認したい場合は[プロパティ (P)]をクリックしてください。よければ、[次へ(N)>] をクリックします。



4 ボリュームラベルを入力し、[完了]をクリックします。フォーマットが始まります。

※DVDメディア使用時はUDFのバージョンを選択することができます。



確認後、[OK]を押してください。

Point
1度フォーマットしたメディアでは、通常フォーマットが完全フォーマットのいずれを行なうか選択できます。通常フォーマットは完全フォーマットより短時間で処理が終了します。

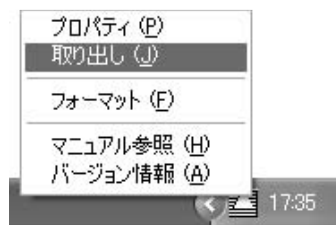


5 フォーマットが終了するとメディアがマウントされます。[OK]をクリックしてください。

メディアを取り出す

B's CLiPで書き込んだメディアは、次の手順で取り出します。メディアをB's CLiPがインストールされていないパソコンでも読み出しが行なえるようにする設定はここで行ないます。

CD-R/DVD-R/DVD+R/DVD+R DL/DVD-R DLの場合



1 ドライブのイジェクトボタンを押すか、タスクトレイに常駐したB's CLiPのアイコンを右クリックし、メニューから[取り出し]を選択します。



2 取り出し方法を選択するメニューが表示されます。希望する取り出し方法を選択し、[OK]をクリックします。

◀CD-Rの場合



※ DVD-R DLメディアの場合、「DVD-ROMドライブで読めるようにする。(再書き込み可能)」は選択できません。

◀DVD-R/DVD+R/DVD+R DL/DVD-R DLの場合



3 [OK]をクリックします。

■CD-R/DVD-R/DVD+R/DVD+R DL/DVD-R DLのメディアの取り出し方

このまま取り出す	次回もB's CLiPを使用してデータを書き込む場合はこちらを選択します。ただし、この状態で取り出したメディアは、B's CLiPが使用できるパソコンでしか読み出しを行なえません。(この設定はCD-R/DVD-R/DVD+R/DVD+R DL/DVD-R DLメディアで共通です)
CD-ROMドライブで読めるようにする (再書き込みが可能)	CD-Rメディアを取り出し後、B's CLiPがインストールされていないパソコンでも読み出せるようにする場合は、こちらを選択します。次回もB's CLiPを使用してデータを書き込むことができます。
CD-ROMドライブで読めるようにする (再書き込みは不可)	CD-Rメディアを取り出し後、B's CLiPがインストールされていないパソコンでも読み出せるようにするだけでなく、以降このメディアに書き込みを行なわない場合に、こちらを選択します。こちらを選択すると次回からデータを書き込むことはできないので注意してください。
DVD-ROMドライブで読めるようにする (再書き込みが可能)	DVD-R/DVD+R/DVD+R DLメディアを取り出し後、B's CLiPがインストールされていないパソコンでも読み出せるようにする場合はこちらを選択します。次回もB's CLiPを使用してデータを書き込むことができます。DVD+R/DVD+R DLメディアをこの方法で取り出した場合、次回以降の取り出しで「DVD-ROMドライブで読めるようにする (再書き込みは不可)」は選択できません。
DVD-ROMドライブで読めるようにする (再書き込みは不可)	DVD-R/DVD+R/DVD+R DL/DVD-R DLメディアを取り出し後、B's CLiPがインストールされていないパソコンでも読み出せるようにするだけでなく、以降このメディアに書き込みを行なわない場合に、こちらを選択します。こちらを選択すると次回からデータを書き込むことはできないので注意してください。

■CD-RWの場合

タスクトレイに常駐したB's CLiPのアイコンを右クリックし、メニューから[取り出し]を選択します。

■CD-MRWの場合



▲CD-MRWで、バックグラウンドフォーマットが終了していない場合

CD-MRWの場合は、バックグラウンドフォーマット中と終了後で動作が異なります。通常は、タスクトレイに常駐したB's CLiPのアイコンを右クリックし、メニューから[取り出し]を選択してください。バックグラウンドフォーマットが終了していない場合は、下記の画面が表示されます。[OK]を押して1分ほどお待ちください。

DVD-RW/DVD+RWの場合



DVD+RWメディアの場合は、クイックフォーマット（バックグラウンドフォーマット）中と終了後で動作が異なります。通常は、タスクトレイに常駐したB's CLiPのアイコンを右クリックし、メニューから[取り出し]を選択してください。

▲DVD-RWの場合またはDVD+RWメディアでバックグラウンドフォーマットが終了していない場合

■DVD-RW/DVD+RWのメディアの取り出し方

このまま取り出す	次回もB's CLiPを使用してデータを書き込む場合はこちらを選択します。ただし、この状態で取り出したメディアは、B's CLiPが使用できるパソコンでしか読み出しを行なえません（この設定はDVD-RW/DVD+RWメディアで共通です）。
DVD-ROMドライブで読めるようにする（再書き込み可能）	DVD-RW/DVD+RWメディアを取り出し後、B's CLiPがインストールされていないパソコンでも読み出せるようにするにはこちらを選択します。次回もB's CLiPを使用してデータを書き込むことができます。

DVD-RAMの場合

タスクトレイに常駐したB's CLiPのアイコンを右クリックし、メニューから[取り出し]を選択します。

BD-R/BD-R DL/BD-RE/BD-RE DL/HD DVD-R/HD DVD-R DL/HD DVD-RWの場合

タスクトレイに常駐したB's CLiPのアイコンを右クリックし、メニューから[取り出し]を選択します。

各種メディアにおける取り扱いの違いについて

B's CLiPは、使用するメディアの種類によって、フォーマットや、メディアを取り出す（イジェクトする）場合の処理の仕方が異なっています。ここでは、その違いをまとめておきます。

■各種メディアのフォーマットと取り出しについて

■CD-R/DVD-R/DVD+R/DVD+R DL/DVD-R DL/BD-R/BD-R DL/HD DVD-R/HD DVD-R DLについて

	フォーマット処理	取り出し処理
CD-R	ブランク（何も書かれていない状態）からのフォーマットのみできます。	<ul style="list-style-type: none"> このまま取り出し メディアが直ちにイジェクトされます。再挿入後、B's CLiPが使用できる環境でのみ読み込み・書き込みが可能です。 CD-ROMで読めるようにする（再書き込み可） CD-ROMやB's CLiPがインストールされていない環境で参照できるようにデータ形式を変換し、さらにB's CLiPでも追記ができるよう、メディアをオープンします。 CD-ROMで読めるようにする（再書き込み不可） CD-ROMやB's CLiPがインストールされていない環境でも参照できるようにデータ形式を変換し、メディアをクローズします（以後データを追記できなくなります）。
DVD-R/ DVD-R DL	ブランク（何も書かれていない状態）からのフォーマットのみできます。	<ul style="list-style-type: none"> このまま取り出し 上記CD-Rメディアと同等です。 DVD-ROMで読めるようにする（再書き込み可） 上記CD-ROMで読めるようにする（再書き込み可）の処理と同等です。 ※DVD-R DLの場合は選択できません。 DVD-ROMで読めるようにする（再書き込み不可） 上記CD-ROMで読めるようにする（再書き込み不可）の処理と同等です（以後データを追記できなくなります）。
DVD+R/ DVD+R DL	ブランク（何も書かれていない状態）からのフォーマットのみできます。	<ul style="list-style-type: none"> このまま取り出し 上記CD-Rメディアと同等です。 DVD-ROMで読めるようにする（再書き込み可） 上記CD-ROMで読めるようにする（再書き込み可）の処理とほぼ同等ですが、ただし1度この手順で取り出すと、以後このメディアに対して「再書き込み不可」ができなくなります（データの追記を禁止することはできなくなります）。 DVD-ROMで読めるようにする（再書き込み不可） 上記CD-ROMで読めるようにする（再書き込み不可）の処理と同等です（以後データを追記できなくなります）。
BD-R/ BD-R DL/ HD DVD-R/ HD DVD-R DL	ブランク（何も書かれていない状態）からのフォーマットのみできます。	取り出しを選択後、メディアはそのままイジェクトされます。 このメディアは、B's CLiPが使用できる環境で読み込み・書き込みが可能です。

注意

ご使用環境によっては、「CD/DVD-ROMで読めるようにする」で取り出されたメディアが、OS上で認識できない場合があります。

DVDメディアについて、従来のUDF1.50形式だけでなく最新の規格であるUDF 2.00/2.01形式のフォーマットにも対応いたしました。通常は、互換性に優れたUDF 1.50形式での使用をおすすめします。（UDF 2.50形式はBD/HD DVDメディアのみ対応）

■CD-RW/CD-MRW/DVD-RW/DVD+RW/DVD-RAM/BD-RE/BD-RE DL/HD DVD-RWについて

注意 各種メディアをフォーマットした場合、データが書き込める容量は物理的な容量よりも少なくなります。650MBのCD-RWで約530MBになり、4.7GBのDVD-RW/DVD+RWメディアでは約4.3GBになります。

	フォーマット処理	取り出し処理
CD-RW	ブランク（何も書かれていない状態）からのフォーマットと、フォーマット済みメディアの再フォーマットができます。（※1）	取り出しを選択後、メディアはそのままイジェクトされます。このメディアは、B's CLiPが使用できる環境で読み込み・書き込みが可能です。
CD-MRW （マウントレイニア）	CD-MRW（マウントレイニア）対応ドライブで使用することができます。ブランク（何も書かれていない状態）からのフォーマットと、フォーマット済みメディアの再フォーマットができます。 ※見かけ上、短時間でフォーマットが終了（1～3分）し、データを読み書きしていない間にフォーマットを行ないます。（バックグラウンドフォーマット）	バックグラウンドフォーマットが終了していない場合、「RWメディアを取り出すにはトラック、セッション情報を書き込む必要があります。よろしいですか」のダイアログが表示されます。この場合はOKを押して1分程度待つとメディアがイジェクトされます。バックグラウンドフォーマットが終了している場合は、そのままイジェクトされます。 このメディアは、B's CLiPが使用できる環境で読み込み・書き込みが可能です。
DVD-RW(QF) （クイックフォーマット）	ブランク（何も書かれていない状態）からのフォーマットとフォーマット済みメディアの再フォーマットができます。 ※見かけ上、短時間でフォーマットが終了（1～3分）します。データの書き込み時に必要な部分だけ、その都度フォーマットを行ないます。	<ul style="list-style-type: none"> ・このまま取り出し メディアはそのままイジェクトされます。B's CLiPが使用できる環境で読み込み・書き込みが可能です。 ・DVD-ROMで読めるようにする（再書き込み可） DVD-ROMやB's CLiPがインストールされていない環境で参照できるようにデータ形式を変換し、さらにB's CLiPが使用できる環境で追記が可能です。
DVD+RW	ブランク（何も書かれていない状態）からのフォーマットと、フォーマット済みメディアの再フォーマットができます。	<ul style="list-style-type: none"> ・このまま取り出し メディアがそのままイジェクトされます。B's CLiPが使用できる環境で読み込み・書き込みが可能です。 ・DVD-ROMで読めるようにする（再書き込み可） DVD-ROMやB's CLiPがインストールされていない環境で参照できるようにデータ形式を変換し、さらにB's CLiPが使用できる環境で追記が可能です。
DVD-RAM	ブランク（何も書かれていない状態）からのフォーマットと、フォーマット済みメディアの再フォーマットができます。	取り出しを選択後、メディアはそのままイジェクトされます。このメディアは、B's CLiPが使用できる環境で読み込み・書き込みが可能です。
BD-RE/ BD-RE DL/ HD DVD-RW	ブランク（何も書かれていない状態）からのフォーマットと、フォーマット済みメディアの再フォーマットができます。	取り出しを選択後、メディアはそのままイジェクトされます。このメディアは、B's CLiPが使用できる環境で読み込み・書き込みが可能です。

※1.ブランクの場合、40～70分程度でフォーマットが終了します。フォーマット済みメディアを再フォーマットする場合は、完全フォーマット（40～70分程度）、通常フォーマット（10～30分程度）を選択することができます。

DVDメディアについて、従来のUDF1.50形式だけでなく最新の規格であるUDF 2.00/2.01形式のフォーマットにも対応いたしました。通常は、互換性に優れたUDF 1.50形式での使用をおすすめします。（UDF 2.50形式はBD/HD DVDメディアのみ対応）

■バックグラウンドフォーマットについて

バックグラウンドフォーマットとは、B's CLiPのようなパケットライティングソフトでメディアをはじめてフォーマットする場合に、物理フォーマット処理を大幅に短縮するための仕組みです。

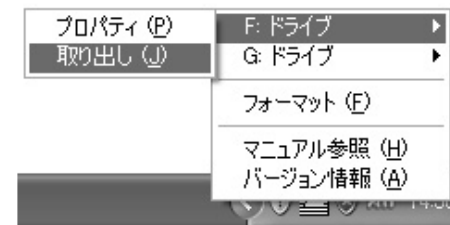
対応した機器を使用すると、物理フォーマットをドライブ内部で管理し、書き込みや読み出しなどの処理が行なわれていない時間（空き時間）を利用してフォーマット処理を自動的に行ないます。もちろん、バックグラウンドフォーマット中でも、自動的にフォーマット処理を中断し、随時、読み出しや書き込みなどの処理を行なうことができますので、フォーマットの時間を気にすることなく、作業が行なえます。

バックグラウンドフォーマットは、マウントレイニア（CD-MRW）規格に準拠したCD-R/RWドライブとDVD+RW規格に準拠した記録型DVDドライブで使用することができます。

また、バックグラウンドフォーマットに対応した製品では、メディアの取り出し時の動作が、非対応のドライブを使用する場合と次のように異なります。

DVD+RWメディアの場合

B's CLiPでは、物理フォーマットが終了していないメディア（バックグラウンドフォーマットが終了していない状態）をドライブから取り出す場合には、次の2種類の中から動作を選択することができます。



①テンポラリリードアウトを書き込む
この状態で取り出す場合は、タスクトレイに常駐しているB's CLiPのアイコンを右クリックし、[取り出し]を選択します（書き込み可能ドライブが1つしかない場合は、ドライブの選択項目はありません）。取り出し処理（約1分間）を行なったあとメディアが排出されます。

②テンポラリリードアウトがない状態で取り出す

この状態で取り出すには、エクスプローラからドライブを右クリックし、メニューから[取り出し]を選択します。

Column テンポラリリードアウトとは？

B's CLiPがインストールされていない環境で、B's CLiPフォーマットのDVD+RWメディアを認識するためには、リードアウトと呼ばれる情報が必要です。通常、リードアウトはメディア全体のフォーマットが完了した時点で自動的に記録されますが、フォーマット完了前に取り出した場合、「DVD-ROMで読めるようにする」を選択した場合は仮のリードアウトが記録されます。テンポラリリードアウトとはこのことを指しています。

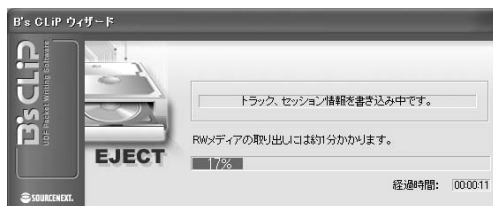
CD-MRW (マウントレイニア) の場合

CD-MRWとはマウントレイニア (MRW) 方式でフォーマットしたCD-RWメディアのことを指します。CD-RWメディアをマウントレイニア方式でフォーマットするためには、B's CLiPの[プロパティ]の[B's CLiP Page設定]にて、[MRWフォーマット対応にする。(RWメディア)]チェックボックスをオンにしてください。

マウントレイニア対応ドライブでCD-MRWを使用し、バックグラウンドフォーマットが終了していない状態でメディアを取り出すには、取り出し処理を行なう必要があります。処理は、

- ① タスクトレイに常駐しているB's CLiPのアイコンを右クリックし、メニューから[取り出し]を選択する
- ② エクスプローラからドライブアイコンを右クリックし、メニューから[取り出し]を選択する
- ③ ドライブのイジェクトボタンを押す

のいずれかで行なえます (処理が開始されるまで時間がかかることがあります)。メニューが表示されたら、[OK]をクリックし、処理を行なってください。



Column

CD-MRWとは？

CD-MRW (マウントレイニア) は、CD-RW/バケットライトの使い勝手向上のために業界団体が作成した規格です。記録開始に必要な部分だけを最初にフォーマットしますので、フォーマットが1分程度で終了してすぐに書き込みが開始できます。また、ドライブを使用していない間にフォーマットを進めていく「バックグラウンドフォーマット」機能を備えているのも特徴です。この機能で書き出したCD-RWを使用するには、対応したドライブが必要です。

■ CD-R/DVD-R/DVD+R/DVD+R DL/DVD-R DLメディアの取り出し時の注意点

B's CLiPでフォーマットされたCD-R/DVD-R/DVD+R/DVD+R DL/DVD-R DLメディアは、ドライブから取り出すときにCD-ROM (DVD-ROM) ドライブで読めるようにするを選択した場合、次のような制限事項があります。

「CD/DVD-ROMで読めるようにする」を行なったメディアを読み込むには、読み込み対象のドライブが「記録型CD/DVDメディアの読み込みをサポートしている」ことが条件です。

記録型CD/DVDの読み込みに対応したCD/DVD-ROMドライブは「マルチリード対応」と呼ばれます。ご不明な場合は、対象となるドライブのメーカーがパソコンメーカーにご確認ください。

「CD/DVD-ROMで読めるようにする」を行なう場合、以下についてご注意ください。

1. ファイル名は半角・全角問わず64文字以内にする必要があります。
ISO9660 Level3/Joliet互換形式で保存する関係上、64文字以上の場合は規格外となり処理の際にエラーとなります。この場合はファイル名を短くして再度お試しください。
2. CD-Rメディアの場合、この処理の際にメディア容量を約21MB消費します。また、「再書き込み可能」を選択した場合はさらに5MBを使用します。空き容量には余裕をもたせてください。
3. DVD系メディアの場合は10000ファイルの処理時に約200MB必要となることがあります (参考値)。
DVD-R/DVD+R/DVD+R DL/DVD-R DLではCD-Rよりも大量のファイルがコピーできるため、この処理ではCD-Rと比較してさらに多くの容量が必要となります。ファイルやフォルダ構成により変動がありますが、DVDメディアの場合、特に空き容量には余裕をもたせてください。

4. 「再書き込み不可」で取り出された場合、以後データの記録はできません。
ファイルやフォルダの書き込み、削除など一切の更新ができなくなりますのでご注意ください。
5. 「再書き込み可能」で取り出し後、新しく追加・削除された内容をB's CLiPが入っていない環境で見られるようにするには、再度「CD/DVD-ROMで読めるようにする」処理が必要です。
B's CLiPが使用可能でないパソコンで読み込める内容は、最後に「CD/DVD-ROMで読めるようにする」処理をした時点での内容になります。

Column iD PHOTOディスクを使用する場合の注意点

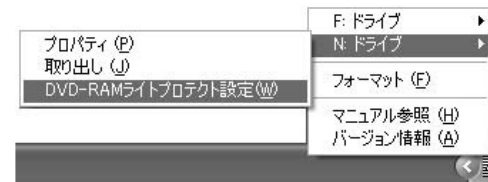
B's CLiPは、iD PHOTOディスクに対して直接読み書きを行なうことができますが、IEEE1394インターフェイスを使用している場合は、B's CLiPでメディアを取り出した後、IEEE1394の停止操作が必要になることがあります。機器に付属のマニュアルにしたがって、IEEE1394の機器取り外し操作を行なってください。詳細については、ハードウェアメーカーへお問い合わせください。

DVD-RAMライトプロテクト設定について

B's CLiPではB's CLiPでフォーマットしたDVD-RAMメディアにプロテクトを設定することができます。プロテクトを設定したDVD-RAMメディアは参照することはできますが、記録ができない状態になります。設定したプロテクトを解除することでB's CLiPで記録が行なえるようになります。
ここではB's CLiPでフォーマットしたDVD-RAMメディアのプロテクトの設定と解除方法を説明しています。

DVD-RAMにプロテクトを設定する

- 1 記録型DVDドライブにDVD-RAMメディアをセットします。
- 2 タスクトレイのB's CLiPアイコンを右クリックし、表示されるメニューの中から「DVD-RAMライトプロテクト設定」を選択します。
- 3 ライトプロテクトの設定ダイアログが表示されるので、「DVD-RAMライトプロテクトを設定します。」にチェックが入っていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。
- 4 確認ダイアログが表示されます。ライトプロテクトを設定する場合は「はい」をクリックします。

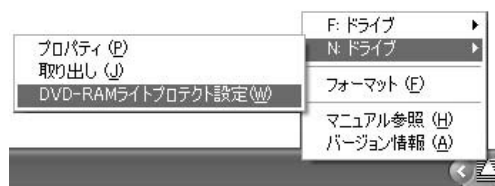




5 DVD-RAMメディアがイジェクトされ、設定終了のダイアログが表示されます。「はい」をクリックします。以上でDVD-RAMメディアのライトプロテクトの設定は終了です。

■ DVD-RAMのプロテクトを解除する

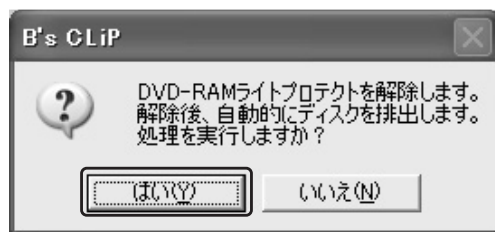
1 記録型DVDドライブにDVD-RAMメディアをセットします。



2 タスクトレイのB's CLiPアイコンを右クリックし、表示されるメニューの中から「DVD-RAMライトプロテクト設定」を選択します。



3 ライトプロテクトの設定ダイアログが表示されるので、「DVD-RAMライトプロテクトを解除します。」にチェックが入っていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。



4 確認ダイアログが表示されます。ライトプロテクトを解除する場合は「はい」をクリックします。

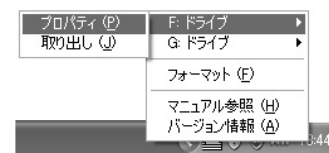



5 DVD-RAMメディアがイジェクトされ、設定終了のダイアログが表示されます。「はい」をクリックします。以上でDVD-RAMメディアのライトプロテクトの解除は終了です。

プロパティシートの使い方 各種設定方法

B's CLiPは、プロパティシートという画面が用意されています。プロパティシートでは、B's CLiPを使用して書き込みが行なえるドライブの各種設定や挿入されたメディアの情報を参照できます。ここでは、プロパティシートの使い方について説明します。

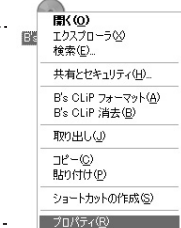
■ プロパティシートを表示する



プロパティシートは、タスクトレイに常駐したB's CLiPのアイコンを右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択することで行なえます。B's CLiPが対応しているドライブが複数接続されている場合は、ドライブ名を選択し、[プロパティ]を選択します。

Point

プロパティシートは、エクスプローラから表示させたいドライブを右クリックしてメニューから[プロパティ]を選択することでも行なえます。また、全般に表示されている内容は、基本的にB's CLiP Page 全般と同じものが表示されます。



■ B's CLiP Page 全般について



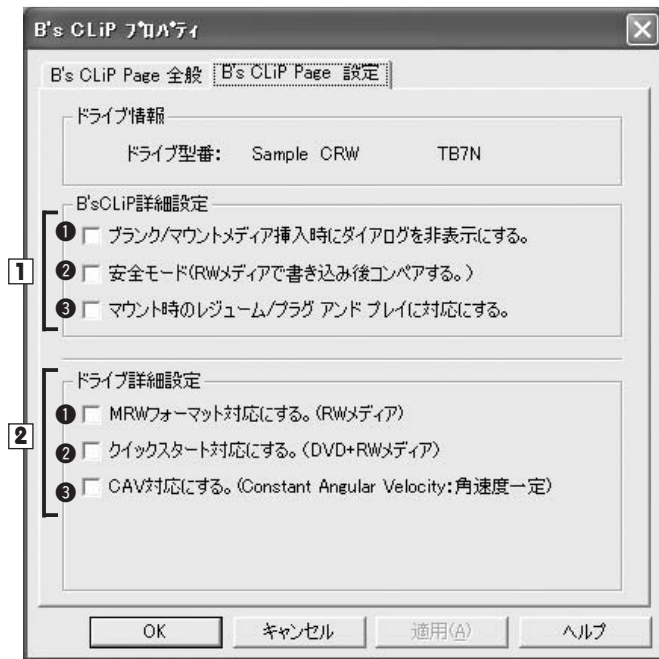
プロパティシートには、[B's CLiP Page 全般]と[B's CLiP Page 設定]の2種類があります。[B's CLiP Page 全般]は、挿入されているメディアの情報を参照することができ、[B's CLiP Page 設定]では、各種設定を行なうことができます。

1 ボリュームラベル	現在設定されているボリュームラベルが表示されています。入力可能な状態になっている場合は、新しい名称を入力することができます。入力を行なったら、[OK]または[適用]をクリックしてください。ボリュームラベルは半角11文字、全角5文字以内で設定してください。スペースは使えません。
2 種類	挿入されているメディアの種類を表示します。

④ファイルシステム	挿入されているメディアが使用しているファイルシステムとそのバージョンが表示されます。B's CLiPで正常に認識されている場合は、「FS_UDF」と表示されます。末尾の数字はUDFのバージョンを示しています。
⑤使用領域	データが記録されている容量を表示します。
⑥空き領域	未使用領域を表示します。
⑦容量	メディアの総容量（使用領域と空き領域の合計）を表示します。

■ B's CLiP Page 設定について ドライブ設定の変更

B's CLiP Page 設定では、B's CLiPを使用するドライブの各種設定を行なうことができます。設定できる項目には、次のものがあります。



1 B's CLiP詳細設定

① ブランク/マウントメディア挿入時にダイアログを非表示にする。

このチェックボックスをオンに設定すると、メディア挿入時に各種ダイアログが表示されなくなります。ブランクメディア挿入時もダイアログが表示されませんので、メディアのフォーマットを行なう場合は、タスクトレイのB's CLiPのアイコンからフォーマットを行なってください。

② 安全モード（RWメディアで書き込み後コンペアする）

このチェックボックスをオンに設定すると、CD-RWやDVD-RW/DVD+RWメディアを使用した場合に書き込みを行なった後、正しくデータが書き込めたかどうかを検

証するコンペア処理を行ないます。データの信頼性は向上しますが、コンペア処理が入るため、見かけ上の書き込みスピードが低下します。

③ マウント時のレジューム/プラグ アンド プレイに対応にする。

このチェックボックスをオンに設定すると、ドライブにメディアが挿入された状態でも、読み込み/書き込み中でなければレジューム（スタンバイ/休止状態）やプラグ アンド プレイドライブの取り外しが行なえます。ただし、環境によっては正常に動作しない場合があります。その場合は、設定をオフにしてください。

2 ドライブ詳細設定

① MRWフォーマットに対応する。（RWメディア）

この設定は、マウントレイニア対応ドライブのみで表示される設定項目です。このチェックボックスをオンに設定すると、マウントレイニア規格に準拠した方式でCD-RWメディアのフォーマット、書き込みを行ないます。CD-MRW（マウントレイニア）については、27ページのコラム「CD-MRWとは？」をご参照ください。

② クイックスタートに対応する。（DVD+RWメディア）

この設定は、クイックスタート対応ドライブでのみ表示される設定項目です。このチェックボックスをオンに設定すると、1分～1分30秒かかるDVD+RWメディアのフォーマットが、約40秒で終了します。

③ CAVに対応する。（Constant Angular Velocity：角速度一定）

この設定は、CAV対応ドライブのみで表示される設定項目です。このチェックボックスをオンに設定すると、CAV方式を使用してCD-RWメディアへの書き込みを行ないます。

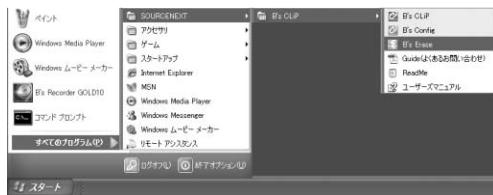
Column CAV(Constant Angular Velocity：角速度一定)とは？

ドライブの内部のメディアを常に一定の速度で回転させる方式のことです。円周は外周ほど長くなるため、速度は内側ほど遅く、外側ほど速くなり、データの読み書き速度が変化します。記録速度・回転数がどの場所でも滑らかに移行するため、書き込み速度が変化した際の書き込み継ぎ目によるギャップが発生しないという利点があります。

B's Eraseの使い方

B's Eraseは、CD-RWおよびDVD-RW/DVD+RWメディア、DVD-RAMメディアやBD-RE/BD-RE DL/HD DVD-RWメディア用の専用消去ツールです。B's CLiPでフォーマットを行なったメディアをブランクメディアに戻したい時などに使用します。B's CLiPでフォーマットを行なったCD-RW、DVD-RW、DVD+RWメディア、DVD-RAMメディアやBD-RE/BD-RE DL/HD DVD-RWメディアをB's Recorderなどのライティングソフトウェアで使用する場合はB's Eraseをご使用ください。

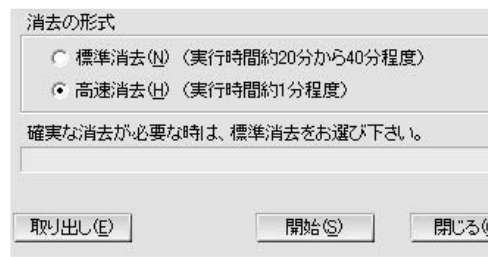
B's Eraseは次の手順で使用します。



1 [スタート]→[プログラム (Windows XPの場合は、[すべてのプログラム])]→[SOURCENEXT]→[B's CLiP]と開き、[B's Erase]を起動します。



2 ドライブが複数ある場合は、メディアの消去を実行するドライブを選択してください。



3 メディアをドライブに挿入し、消去の形式を標準消去と高速消去の2種類から選択します。

標準消去は、メディア全体の消去を行なうため、CD-RWメディアの場合で20分～40分ほど時間がかかります。

高速消去は、メディアのファイルやフォルダの情報部分のみを消去する見かけ上の消去を行ない、約1分ほどの短時間で実行できます。

通常の使用では、高速消去で問題はありません。標準消去は、確実な消去が必要な場合などでご使用ください。

4 準備ができたなら[開始 (S)]をクリックします。消去が始まります。



5 ダイアログが表示されたら[OK]をクリックしてください。

お困りの時には… (トラブルシューティング)

よくあるお問合せ内容

ここでは、B's CLiPが正常に動作しない場合などについての代表的なトラブルシューティングを掲載しています。サポートセンターに問合せを行なわれる前に、1度ご確認ください。

また、別途PDFファイルもご用意しておりますのでご活用ください。PDFファイルは「スタート」-「すべてのプログラム」(XPの場合)-「SOURCENEXT」-「B's CLiP」-「Guide (よくあるお問合せ)」を選択することで内容をご確認いただけます (Adobe Readerがインストールされている必要があります)。

B's CLiPが使用できない。

B's CLiPが動作確認しているドライブかどうかを確認してください。動作確認ドライブ一覧は、弊社ホームページ (<http://www.sourcenext.info/bs/>) で案内しております。

●B's CLiPのアイコンがとなっている。

- ① Windowsからドライブが認識されていない場合は？
→43ページ「デバイスマネージャの確認方法を教えてください」をご参照ください。
- ② CDまたはDVDの読み込みが問題なくできる場合は？
→動作確認済みドライブかどうかご確認ください。
弊社ホームページ (<http://www.sourcenext.info/bs/>) をご参照ください。

●ブランクメディアをいれても反応しない。


●フォーマットが完了したのにマウントしない。

→39ページ「フォーマットしようとブランクメディアをセットしても、認識されません/メディアのフォーマットが完了しましたが、B's CLiPでマウントされません。」をご参照ください。

メディアをドライブに挿入しても見えない。

B's CLiPが起動しているかどうか確認してください。起動しているかどうかは、タスクトレイにB's CLiPのアイコンがあるかどうかで確認できます。起動していない場合は、

- ① Windows XP/Vista/Vista x64/7/7 x64をクラシック表示で使用している場合、[スタート]→[プログラム]→[SOURCENEXT]→[B's CLiP]と開き、[B's CLiP]を起動します。
- ② Windows XP/Vista/Vista x64/7/7 x64をデフォルトで使用している場合、[スタート]→[すべてのプログラム]→[SOURCENEXT]→[B's CLiP]と開き、[B's CLiP]を起動します。

※ 常にこの状態が続く場合、インストールが正しく行なわれていない可能性があります。起動する度、上記の手順を行なわないとが出ない場合は一旦アンインストールして、再度インストールしなおしてみてください。

ファイルの削除を行なっても空き領域が増えません。

CD-R/DVD-R/DVD+R/DVD+R DL/DVD-R DLメディアの場合、ファイルの削除を行なっても、見かけ上の削除が行なわれただけで、1度書き込んだファイルは、メディア上から物理的な削除を行なうことはできません。

CDまたはDVDドライブでメディアの内容を見ると、削除したはずのファイルが見える。または、書き込んだはずのファイルが見えない。

CD-R/DVD-R/DVD+R/DVD+R DLメディアに書き込みを行なった場合は、B's CLiPが使用可能なパソコン以外では、メディアを取り出すときにCD/DVD-ROMで読めるようにするという処理を行なった時点での内容のみを読み出すことができます。このため、その後にB's CLiPを使用し、新しいファイルをコピーしたり、すでにあったファイルを削除したりした場合は、その情報が反映されていません。これを解消するためには、メディアを取り出すときに再度CD-ROMで読めるようにするという処理を行なう必要があります。

DVD-RAMメディア、またはBDメディアをフォーマットしようとするとエラーが表示される。

「BDドライブソフト」または「DVD-RAMドライバ」がご使用のパソコンにインストールされている場合は、B's CLiPでBDメディア、DVD-RAMメディアをご使用いただけません。なお、ご使用の「DVD-RAMドライバ」によってはBDメディアをB's CLiPでご使用いただける場合があります。

ライトエラー、リードエラーなどのATAPIエラーが発生した。

ATAPIエラーが発生した場合は、ドライブの電源を入れなおして、Windowsを再起動してください。USB/IEEE 1394接続のドライブの場合でも表示されます。

- ※ 画面のメッセージに従い対策を行なってください。
- ※ 40ページの「Medium エラーが発生しました。」「HardWareエラーが発生しました。」または「Illegal Request エラーが発生しました。」…これらのエラーが表示される場合は？」をご参照ください。

B's Recorderで使用しているメディアにB's CLiPで書き込みを行なうことができますか？またはその逆は可能ですか？

B's Recorderなどのプリマスタリングソフトで使用しているメディアにB's CLiPで書き込むことはできません。その逆も同様です。

音楽CDやDVD-Videoを作ることはできますか？

B's CLiPは、UDF形式でデータを保存するソフトです。音楽CDやDVD-Videoを作成することはできません。音楽CDやDVD-Videoを作成する場合は、弊社のB's Recorderを使用してください。

他社のパケットライトソフトで使ったメディアをB's CLiPで使用できますか？



メディアをドライブに挿入するとB's CLiPが使用可能なメディアかどうかのチェックを行ないます。互換性がない場合は、エラーメッセージが表示されます。ただし、互換性があったとしても、できるだけB's CLiPでフォーマットしたメディアをご使用ください。

CD-RWメディアやDVD-RW/DVD+RWメディアをフォーマットしたら容量が少なくなりました。なぜですか？

CD-RWメディアやDVD-RW/DVD+RWメディアをB's CLiPでフォーマットをした場合、データが書き込める容量は物理的な容量より少なくなります。650MB（74分）のCD-RWメディアを使用した場合で約530MBほどになり、4.7GBのDVD-RW/DVD+RWメディアを使用した場合で約4.3GBほどになります。これは、メディアにエラーが起きた場合などの代替処理用の領域などを確保しているためです。ご了承ください。

フォーマットしようとブランクメディアをセットしても、認識されません／メディアのフォーマットが完了しましたが、B's CLiPでマウントされません。

B's CLiPがメディアを扱える状態になっていないと思われるます。

- ① B's CLiPが起動しているかどうか確認してください。
 起動しているかどうかは、タスクトレイにB's CLiPのアイコン  があるかどうかで確認できます。
 また、アイコンが  になっているときは、何らかの理由でドライブが認識されていません。この場合は42ページの「ドライブの接続状態や、設定の確認について」をご確認ください。
 もし、B's Configを使用してWindowsに常駐しないように設定されている場合は、元に戻してご使用ください。

※ B's CLiPはWindows起動時にUDFドライバの読み込みを行なうため、常駐させないと正常にメディアを扱うことができません。そのため [スタート] → [プログラム] → [SOURCENEXT] → [B's CLiP] からB's CLiPを起動した場合の動作は保証いたしかねます。ご了承ください。

- ② ご使用環境にインストールされている他社製のファイルがメディアを制御しているために、B's CLiPがメディアを扱えない状態になっている可能性があります。
 メディアをドライブにセットした状態で、マイコンピュータからドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選択してください。
 ドライブのプロパティ画面にて、ファイルシステム欄が「FS_UDF」になっている場合はB's CLiPで正常にメディアを扱える状態（マウント状態）です。それ以外の表示になっている場合は、これに該当すると思われる。

■B's CLiPと同じパケットライト方式で書き込みを行なう他社製のソフトウェア（Drag-to-DiscやDirect CD、PacketManなど）がご使用環境にインストールされていたり、それらで書き込んだメディアをご使用環境で参照されたことがある場合は、そちらのUDFリーダーと呼ばれるファイルが残っている可能性があります。そうしたファイルがB's CLiPよりも先にメディアを認識してしまうと、B's CLiPで書き込みができなくなります。弊社にて確認できているところでは、以下のようなファイルがそれに該当します。

UDFReadr.sys
 UDFRDR.sys
 udfreadr_xp.sys

Windowsのファイルの検索機能を用いてこれらのファイルが存在するかどうかを確認し、あれば削除して動作をご確認ください。

※ 前述のドライブプロパティ画面のファイルシステム欄にて表示される文字列が該当ファイル名のヒントとなる場合があります。
例（ファイルシステム欄：UDFRDR→UDFRDR.sysが存在）

※ Windows XP/Vista/Vista x64/7/7 x64の場合は[プログラム]を[すべてのプログラム]に読み替えてください。

■44ページの「ASPIマネージャについてと、その確認方法」をご確認ください。

**「Medium エラーが発生しました。」「HardWareエラーが発生しました。」または「Illegal Request エラーが発生しました。」
…これらのエラーが表示される場合は？**

B's CLiPが動作中に、上記の画面が出ることがあります。この画面にはエラーコードとどのようなエラーかが表示されます。エラーコード番号は、不具合の解決に役立ちます。エラーの種類によって解決手順が異なります。

数々の対策方法がありますが、主なエラーの種類（Medium, HardWare, Illegal Requestの3種類）により、試していただく順番が異なります。詳しくは以下をご参照ください。

●Mediumエラーの場合

- ① ドライブメーカー推奨のメディアメーカーに交換してみてください。
品質が劣るメディアの場合、Mediumエラーが発生することがあります。
推奨メディアメーカーについては、ドライブ付属の説明書をご覧ください、ドライブメーカーにご確認ください。
- ② 書き込みドライブの接続について確認してください。→42ページをご参照ください。
- ③ 他社製のライティングソフトがあれば、アンインストールしてください。
- ④ ASPIマネージャについてご確認ください。→44ページをご参照ください。
- ⑤ ウイルスチェッカーや、タスクスケジューラなどの常駐ソフトを停止してください。
詳細はソフトメーカーにご確認ください。
- ⑥ ドライブのファームウェアをバージョンアップしてください。
ファームウェアのバージョンアップ方法については、ドライブごとに手順が異なります。詳しくはメーカーにお問い合わせください。

●HardWareエラーの場合

- ① ドライブメーカー推奨のメディアメーカーに交換してみてください。
品質が劣るメディアの場合、このHardWareエラーが発生することがあります。

推奨メディアメーカーについては、ドライブ付属の説明書をご覧ください、ドライブメーカーにご確認ください。

- ② ドライブのファームウェアをバージョンアップしてください。
ファームウェアのバージョンアップ方法については、ドライブごとに手順が異なります。詳しくはメーカーにお問い合わせください。
- ③ 書き込みドライブの接続について確認してください。→次項をご参照ください。
- ④ ウイルスチェッカーや、タスクスケジューラなどの常駐ソフトを停止してください。
詳細はソフトメーカーにご確認ください。
その他、常駐を止められるソフトがある場合は止めてみてください。
- ⑤ ASPIマネージャについてご確認ください。→44ページをご参照ください。
- ⑥ 他社製のライティングソフトがあれば、アンインストールしてください。

●Illegal Requestエラーの場合

- ① ウイルスチェッカーや、タスクスケジューラなどの常駐ソフトを停止してください。
詳細はソフトメーカーにご確認ください。
その他、常駐を止められるソフトがある場合は、止めてみてください。
- ② 他社製のライティングソフトがあれば、アンインストールしてください。
- ③ ASPIマネージャについてご確認ください。→44ページをご参照ください。
- ④ ドライブメーカー推奨の、メディアメーカーに交換してみてください。
品質が劣るメディアの場合、このIllegal Requestエラーが発生することがあります。
推奨メディアメーカーについては、ドライブ付属の説明書をご覧ください、ドライブメーカー様にご確認ください。
- ⑤ ドライブのファームウェアをバージョンアップしてください。
ファームウェアのバージョンアップについては、ドライブごとに手順が異なります。詳しくはメーカーにお問い合わせください。
- ⑥ 書き込みドライブの接続について確認してください。→次項をご参照ください。

こちらをご確認いただいても現象が改善しない場合は、ドライブ自体などハード的な問題が考えられますので、ドライブメーカーに点検・修理のご相談をすることをおすすめします。

■ ドライブの接続状態や設定の確認について

トラブルの中には、ドライブの接続状態や設定を見直すことで解決するものがあります。以下のドライブ接続形式ごとにチェックポイントをご確認ください。

・ATAPI接続のドライブ（ドライブがパソコンに内蔵される形式です）

- ① IDEバスの状態が不安定になっている
接続するバスを替えていただくことや、CD-ROMドライブなどと同じバスに接続している場合は、別のバスに繋ぎ替えてください。
また、RAIDコネクタに接続されている場合は、オンボードのIDEバスに繋ぎ替えてください。RAIDコネクタに接続されると、Windows上ではご使用いただけますが、B's CLiPからは正常に認識されません。
- ② DMAが有効になっている
DMAを無効にしてください。詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。

・USB/IEEE1394接続のドライブ（主に外付けドライブの接続方式です）

- ① ハブを経由してパソコンに接続している
ハブを介さず、直接ドライブをパソコンの端子に接続してください。
- ② USB/IEEE 1394ポートの状態が不安定である
パソコンに複数USB/IEEE 1394ポートがあれば、接続するポートを替えてください。USB 2.0接続の場合、USB 1.1のコネクタがあればそちらに繋いでみてください。USB/IEEE 1394どちらでも接続できるドライブの場合は、別のインターフェイスによって動作が安定するかもご確認ください。
- ③ 家庭用タップなどからタコ足配線でドライブの電源を取っている
OA用タップを使用してください。もしくは、壁のコンセントから直接電源を取ってください。

・SCSI接続のドライブ（USBやIEEE 1394以前からある外付けドライブの接続方式です）

- ① 必要最小限の機器のみ接続してください。できればドライブのみ接続してください。
- ② ターミネータを接続してください。ターミネータが内蔵型のドライブの場合でも、できればアクティブターミネータを使うことをおすすめします。
- ③ SCSIケーブルは、なるべく短めかつ新しいものに替えてください。
- ④ SCSI Disconnectionが無効になっている可能性があります。有効にしてください。詳細については、SCSIカードのマニュアルをご覧ください。

■ デバイスマネージャの確認方法を教えてください

動作確認済みドライブであるにも関わらず、B's CLiPでCD-RWドライブや記録型DVDドライブが認識されない場合は、ドライブがWindows自体に認識されていないことも考えられます。Windows上で認識されないドライブは、B's CLiP上でも認識されません。

ドライブがWindowsから正常に認識されているかどうかは、「デバイスマネージャ」で確認することができます。

一般的に、ドライブの取扱説明書（取り付けやセットアップの項）に、この画面でどのように表示されれば正常であるかが説明されていますので、まずはそちらをご確認ください。デバイスマネージャで正しく表示されていない場合は、ドライブの接続や必要なドライバのインストールができていないかなどをご確認ください。

詳細については、ご使用のドライブごとに情報が異なりますので、ご使用のドライブメーカー様へ「ドライブがデバイスマネージャに表示されない」とご相談ください。

※ドライブのパッケージ型番と、デバイスマネージャ上で表示される名称が異なる場合があります。詳細は、ドライブメーカーにご確認ください。

●Windows XPの場合

[コントロールパネル] - [システム] からシステムのプロパティを開き、[ハードウェア] 画面の [デバイスマネージャ] ボタンをクリックするとデバイスマネージャ画面が開きます。この画面でドライブが認識されているかどうか確認します。

●Windows Vista/Vista x64/7/7 x64の場合

[コントロールパネル] - [システムとメンテナンス] - [デバイスマネージャ] をクリックするとデバイスマネージャ画面が開きます。この画面でドライブが認識されているかどうか確認します。

■ ASPIマネージャについてと、その確認方法

…ASPIマネージャとは？

ソフトウェアとハードウェアとの情報のやり取りを仲介するファイルです。B's CLiPではこのファイルを使ってドライブの制御を行いません。このファイルが予期せず書き換えられていた場合、または不必要なものが含まれていた場合などに、次の不具合が起こることがあります。

ASPIマネージャの異常が原因で起こる不具合

- ・対応しているドライブなのに、B's CLiPで認識されない
- ・マイコンピュータでは「Eドライブ」がCD-RWドライブなのに、ソフトウェア上ではなぜか「Aドライブ」と表示されてしまう
- ・書き込みの途中でエラーが発生する

B's CLiPはASPIマネージャを介することなくCD-R/RWドライブや記録型DVDドライブの認識、制御などを行いません。

しかし、ご使用環境に他社製のライティングソフトウェアや仮想CDドライブ作成のユーティリティ、ドライバファイルなどをインストールしたときに、一緒にそれらのASPIマネージャがインストールされると、そのASPIマネージャに影響を受けてしまい、問題が発生することがあります。

0. 確認前の準備

Windowsの設定によっては、探す対象のファイルが不可視（見えない状態）になっていることがあります。まずそちらの設定を確認します。

- ① コントロールパネルの「フォルダオプション」を開き、[表示] タブの画面で「すべてのファイルとフォルダを表示する」を有効にします。
- ② 「登録されている拡張子は表示しない」を無効にします。
- ③ [OK] をクリックして画面を閉じます。

1. ファイルの検索

① ・Windows Vista/Vista x64/7/7 x64の場合

[スタート] - [検索] をクリックし、[高度な検索] をクリックします。

・Windows XPの場合

[スタート] - [検索] をクリックし、「何を検索しますか？」の欄で「ファイルとフォルダすべて」をクリックします。

- ② 次に「探す場所（または場所）」欄の右端をクリックし、「参照...（Vistaの場合は検索先の選択...）」をクリックします。
- ③ フォルダの参照画面が開くので、Windowsのフォルダを指定します。
例) Windows XP/VistaがCドライブにインストールされている場合はCドライブの中のWindowsフォルダを指定します。
- ④ 検索するファイル名を入力する欄に、以下のファイル名を入力し検索を開始します。
これらは、弊社での動作検証によって確認されている他社製のASPIマネージャのファイル名です。1つずつ検索を行なってください。
wnaspi32.dll · cdr4vsd.sys · cdr4_2k.sys · cdr4_xp.sys

2. ファイルのリネーム（名前の変更）

- ① ファイルが検索されたら、ファイルのリネームを行ないWindowsのシステムに読み込まないようにします。

リネームの一例

検索されたファイル「cdr4_xp.sys」を右クリックして「名前の変更」を選び、末尾に「1」をつけて「cdr4_xp.sys1」に変更します。

- ② 上記「1.ファイルの検索」に記載したファイルをすべて検索し、リネームができたらWindowsを再起動します。

注意

使用環境によっては、「cdr4_2k.sys」や「cdr4_xp.sys」をリネームすると、DVDドライブやCD-RWドライブなどがWindows上で認識されなくなることがあります。その場合は、該当するファイルがDVDドライブやCD-RWドライブのドライバとして動作していることとなります。該当ファイルをインストールした他社製のライティングソフトウェアが削除できていないことが考えられますので、いったんリネームしたファイル名をもとに戻し、他社製ライティングソフトウェアについて完全に削除できているかどうかを確認してください。

3. 動作の確認

2. のリネーム後、お困りの現象が改善されているかどうか確認します。

上記で改善しない場合：他にASPIマネージャがないかどうかを確認

1.のファイルを検索したが見つからない、もしくは見つかったので、2.のリネームをしたが改善しない、という場合は、更に"aspi"という文字列を含んだファイルがないかどうか検索をします。

※ ASPIマネージャのファイルは、そのファイル名に"aspi"が含まれていることが多いため 1.と同様にファイル検索画面を表示し、検索するファイル名を入力する欄に"aspi"と入力して検索を開始します。

検出されるファイルがあれば、2.~3.と同様にリネームを行ない動作を確認してください。

※ 「bsaspi32.sys」「bsaspi32.srv」というファイルについては弊社製のファイルのため、リネームしないでください。

なお、もし検出されたファイルをリネームすることによって、お使いの他のソフトウェアに影響が出る、という場合は以下のことをご確認ください。

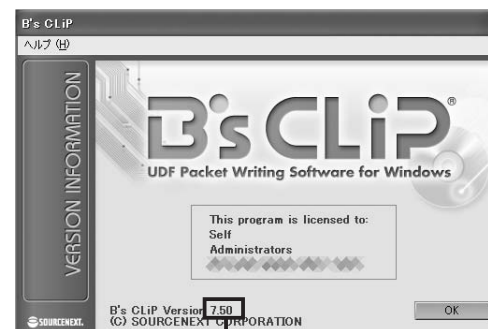
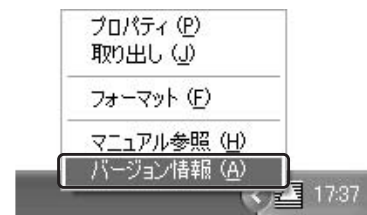
● ASPIマネージャをインストールするソフトウェアが、弊社製品と同種のCD/DVDライティングソフトウェアである場合にはそちらをアンインストールすることをおすすめいたします。

● 検出されたファイルをリネームすると、ライティングソフト以外の他のソフト動作に影響が出る、あるいはWindows上でDVDドライブやCD-RWドライブなどが認識されなくなるという場合は、そちらのソフトウェアメーカーにご相談ください。ソフトウェアのアップデートを行なうことで改善する場合があります。

バージョン情報の確認

B's CLiPのバージョン情報の確認は、次の手順で行ないます。バージョン情報は、サポートセンターに問合せを行なう場合やソフトウェアをアップデートする上で重要な情報です。

タスクトレイに常駐したB's CLiPのアイコンを右クリックし、メニューから[バージョン情報]を選択します。



この部分の数字がバージョン番号です

画面の下側 ボタンの左側にバージョン番号が表示されます。確認ができましたら を押してください。


サポートサービスについて

■ この「ユーザーズマニュアル」で疑問点が解決しない場合は、以下の方法をお試しください。

■ ヘルプを使って調べる

パソコンの画面上で見られる「ヘルプ」は、「B's CLiP」の機能や設定を詳しく知りたい場合に便利です。

手順

- 1.画面右下のを右クリックします。
- 2.表示されるメニューから「マニュアル参照」を選択します。
- 3.画面左の目次からご覧になりたい項目をクリックします。

■ 専用サポートページで調べる

「B's CLiP」は、困った時にすぐ問題を解決できるよう専用サポートページをご用意しています。

以下のURLへアクセスし、ご確認ください。

専用サポートページURL

<http://www.sourcenext.info/bs/>

■ サポートセンターへ問い合わせる

ヘルプやサポートページで解決方法が見つからない場合は、サポートセンターまでメールでお問い合わせください。

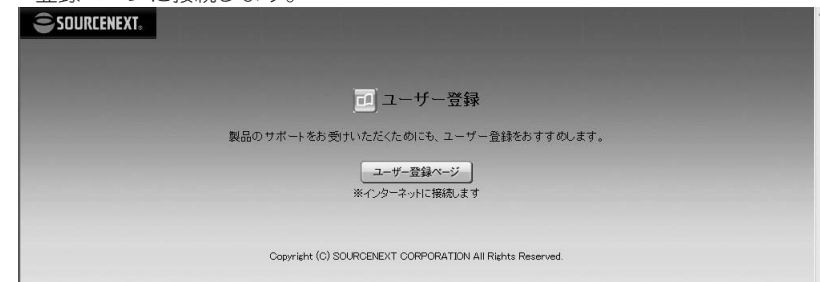
なお、製品のサポートを受けるには、ユーザー登録が必要です。

ユーザー登録の方法

- 1.画面左下の「スタート」ボタンから「(すべての)プログラム」 - 「SOURCENEXT」 - 「B's Recorder」 - 「ユーザー登録」を選択します。



- 2.表示された画面で「ユーザー登録」ボタンをクリックし、ソースネクストのユーザー登録ページに接続します。



※ユーザー登録の際には、「シリアル番号」をご用意ください。

- 3.表示されたユーザー登録ページの案内に沿ってお進みください。

メールでのお問合せ

以下の方法でお問い合わせください。

- 1.専用サポートページを開きます。
<http://www.sourcenext.info/bs/>
- 2.該当するQ&Aをクリックします。該当するQ&Aがない場合は他の適当なQ&Aを選択してください。
- 3.Q&Aのページ下部にある「解決しない」ボタンをクリックします。お問い合わせフォームが表示されますので、案内に沿ってお進みください。

■カスタマーサービスのご利用に関して

ソースネクスト製品サポート規約（2006年2月3日現在）抜粋

第5条 サポート提供期間

本規約第8条（サポートの期間途中の終了）で規定する場合を除き、販売終了から1年後まで、サポートを提供します。ただし、マイクロソフトOSおよびApple Computer, Inc.（アップルコンピュータ株式会社を含む）OS上での動作については、マイクロソフト社およびApple Computer, Inc.のサポート提供期間に準じます。

第6条 サポートの制限事項

弊社は、お客様の全ての不都合や不明点を完全に解決することを保障するものではありません。また、弊社が以下の項目に該当すると判断する事由があった場合、サポートの利用を制限する場合があります。また、火災、停電、天変地異およびシステム上の不具合が発生した場合は、サポートが一時利用できない場合があります。

- (1) 弊社の規定する動作環境外あるいはお客様固有の特殊な動作環境における不具合に対する問合せの場合。
- (2) 弊社が規定・提供するサポート以外の対象・方法によるサポートを強要する行為。
- (3) 第三者または弊社の財産もしくはプライバシーを侵害する行為、または侵害する恐れのある行為。
- (4) 第三者または弊社に不利益もしくは損害を与える行為、またはその恐れのある行為。
- (5) 弊社および業務に従事する者に対し、著しく名誉もしくは信用を毀損する行為、またはその恐れのある行為。
- (6) 他人のメールアドレスを登録するなど、虚偽の申告、届出を行なう行為。
- (7) 公序良俗に反する行為、またはその恐れのある行為。
- (8) 犯罪行為または犯罪に結びつく行為、またはその恐れのある行為。
- (9) その他法律、法令または条例に違反する行為、またはその恐れのある行為。
- (10) その他弊社が不適切と判断する行為。

なお、日本語版以外のOSをご利用の場合、日本国外からの問合せまたは日本語以外の言語による問合せの場合、および製品によるお客様作成の成果物に対しての問合せの場合は、一切サポートを行っておりません。

第9条 責任の免除

1. サポートはあくまで助言としてお客様に提供されるものであり、問合せのあった問題の解決、お客様の特定の目的にかなうこと、および不具合の修補を保証するものではありません。
2. サポートによる保証の範囲は、各製品の使用許諾条件書に準ずるものとします。また、火災、天災、地震、水害などにより生じた損傷への保証は行ないません。

詳細につきましては、下記URLよりソースネクスト製品サポート規約をご覧ください。

製品サポート規約URL

<http://www.sourcenext.com/rule/support.html>

■B's CLiP7 サポートシート

サポートセンターにメールでお問合せをいただく際には、お使いのパソコン環境の詳細や、問題が発生するまでの手順（何をどうしようとしたらどうなったのか）などをお知らせください。問題点を早く解決するためにも、事前に以下の内容をご確認の上お問い合わせください。

■ご使用のソフトウェア

・ソフトウェア名： B's CLiP7
 ・バージョン： _____

■ご使用環境

機種名： _____
 型番： _____
 マザーボード： _____
 CPU： _____ MHz
 メモリ： _____ MB
 OS： Windows XP Vista 7
 SP： _____

■ご使用のCD-R/RW/DVDドライブ

メーカー名： _____
 製品名： _____
 ファームウェアバージョン： _____

■インターフェイス

SCSI IDE(ATAPI) S-ATA
USB 1.1 USB 2.0 IEEE1394
 ※ [システムのプロパティ] の [デバイスマネージャ] タブで確認できる情報をご記入ください。

■その他ご使用周辺機器

■ご使用のメディア

メーカー名/型番： _____
CD-R CD-RW DVD-R DVD-RW
DVD+R DVD+RW DVD+R DL
DVD-R DL DVD-RAM BD-R BD-RE
BD-R DL BD-RE DL HD DVD-R
HD DVD-R DL HD DVD-RW

■インストールしている主なソフトウェア

※特にライティングソフトウェアなど

■エラー発生時のタイミング

インストール時 起動時
フォーマット時（物理フォーマット/論理フォーマット）
ファイルコピー時（すぐ/途中/終了）
取り出し時（そのまま/CD・DVD-ROMドライブで読めるようにする<再書き込み可>/CD・DVD-ROMドライブで読めるようにする<再書き込み不可>）
その他（ _____ ）

■現象

再現（有・無・まれ）
ドライブのランプ（消灯・点滅・点灯）
エラーメッセージ

障害番号（エラーコード）



MEMO